



松木島八幡社

せんくう かぜ
遷宮の風だより 第11報

発行元

松木島八幡社第19回式年遷宮委員会

令和6年2月1日

来月は、いよいよ20年に1度の御遷宮です。今回の遷宮だよりでは、第19回式年遷宮に対して多くの寄附物品をお預かりしましたので、これらの品々を紹介しします。また、先回のたよりで“上棟祭”や“奉祝行列”、“幣饌供進の儀”のスケジュールを紹介しましたので、今回は内容を解説します。

寄附物品の紹介

1 幟(のほい)

① 大幟



② 御神前幟



③ 参道幟



2 幣殿・拝殿内(へいでん・はいでんない)

① 日像旗



太陽

月

② 月像旗



③ 社名旗



④ 鉾旗



3 本殿内(ほんでんない)

① 内陣褥



② 内陣御幌



※ 褥(しとね)とは、御霊を乗せる敷物のことです

※ 御幌(みとばり)とは、御霊が直接見えないようにする白い布のことです

4 しめ縄 ① 一ノ鳥居



② 西の鳥居



5 玉垣



2023/11/25

じょうとうさい

上棟祭：3月23日(土)

上棟祭は「棟上祭(むねあげのみまつり)」とも「棟上げ」「建て前」とも云われています。今回の御遷宮では銅板屋根の葺き替えや玉垣の建て替えなどを行いました。

23日に行う祭典では、家屋の守護神及び工匠(こうしょう)の神を祭り、松木島八幡社に災いが起こらないように、木遣り奉納や破魔矢などを飾り立ててお祓いを行います。



ほうしゅくぎょうれつ

奉祝行列：3月24日(日)

松木島八幡社御遷宮を謹んでお祝いするため、社名旗や日像旗、月像旗、鉦簰からびつなどを掲げ、また、唐櫃からびつを担ぎ教栄寺から八幡社まで練り歩く行列です。

なお、社名旗や日像旗、月像旗、また、鉦簰は表ページの寄附物品で紹介していますのでご覧ください。



へいせんきょうしん

幣饌供進の儀：3月24日(日)

幣饌供進の儀とは、神社庁からの幣帛(へいはく)と神饌(しんせん)をお供えし、ご本殿にお戻りになられた八幡大神おおかみ たてまつに奉る大祭です。

- 幣帛 … 神様に捧げる布や、紙、また、玉や衣服などのこと
- 神饌 … 神様に供えるお供物(献上するお食事)のこと



※ 上記3件の画像は平成16年に行われた第18回式年遷宮のものです

保存会の紹介 その3

かくらだいこぼぞんかい 神楽太鼓保存会



神楽の起源説話として、天照大神あまてらすおおみかみが天岩戸あまのいわとにお隠れになった時、岩戸の前で天鈿女命あまのうずめのみことが神がかりして舞ったのが起源だと云われています。

松木島神楽太鼓保存会は、毎年秋祭りでは飢饉や疫病を追い払うと云われる“獅子舞”や子ども会と連携した“神楽奉納”に取り組んでいます。また、御遷宮では「七夕」「ヤマト」「チノサ」「ヒャラトロ」「早神楽」の5曲を奉納するため日夜練習に励んでいます。

現在、神楽太鼓保存会は、後継者不足となっていますが、これからも松木島八幡社の伝統芸能を絶やさぬように、保存会一同頑張りますので、皆様のご支援よろしくお願ひします。

今回の透かし … 御神殿と玉垣

